平成30年度(29年度実績) 総合評価書 <施設名 中央児童館>

1 指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2 指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間) ②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値 (例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	開館時間中(10:00~18:00)は自由来館としている。	-
			平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点		平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値 (例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満~95%4点 ・乳幼児クラブや英語事業の人数が増え、乳幼児親子の来館につながった。 ・子どもの数が減少する中で来館者数を維持しており、評価できる。 【29年度】来館者数 10,316人 乳幼児:2,694人 小学生:4,137人 中高生:161人 大人:3,324人 【28年度】来館者数 10,118人 乳幼児:2,629人 小学生:4,193人 中高生:156人 大人:3,140人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計47回開催、延べ741名参加) ・児童を対象とした事業(計59回開催、延べ696名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計4回開催、延べ397名参加) ・中高生事業(計6回開催、延べ46名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計71回開催、延べ625名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 12点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・保健センターや地域と連携を図り、事業を行っている。 ・小学生クラブの発表の場やボランティア活動の場を多く確保し、児童の活躍を地域へ発信することで、地域と児童の関わりを深めた。	12点
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、 内容・事業数等が例年通り:11~9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計47回開催、延べ1,289名参加) ・児童を対象とした事業(計46回開催、延べ381名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計32回開催、延べ679名参加) ・中高生事業(計0回開催、延べ0名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計1回開催、延べ12名参加) ※別紙:事業評価表 参照	例年通り 11点	・他団体や地域と連携を図り、季節行事や節句行事等を通じて多世代での交流を深めた。 ・地域や保護者のニーズに応え、乳幼児の英語事業を積極的に行なった。 ・茶道をクラブ化し、メンバー間で見通しを持って事業に取り組み、じどうかんまつりでは茶室を開き披露する場を設けている。 ・「子育て相談と子育てネットワークづくりの推進」において、自主事業を立ち上げた。次年度についても検討している。 ・中高生事業については企画に応じてくれる子がいなかったため不実施となった。	11点		

4 採点表									
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
2 施設管理 状況(25点)	(1)施設管理 業務 の実施状況 (10点)	①清掃	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2~3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃。	適正 (普通) 2点	仕様書に定める回数を適正に実施。	10点		
		②保守・点検		電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。	適正 (普通) 2点	法定点検、日常点検とともに適正に実施されている。			
		③保安・警備		非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		④小規模修繕		遊戯室ガラス交換 (1回 9,450円) ふすま張替え・取っ手修繕 (7,000円) 網戸のゴム (624円) 輪転機修理 (10,422円) 10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正 (普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。			
		⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)		毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路に面している2箇所に「飛び出し注意」看板を取り付け。 館内にハザードマップを掲示。 道路河川課により、館庭の側溝に蓋を取り付けた。 気づいた時に随時「ヒヤリハット報告書」を作成し、職員間で周知している。	適正 (普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。			
	(2)その他管 理業務 の実施状況 (15点)	①文書管理	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて鍵のついたスチール棚に保管。	適正 (普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。		10点	
		②環境への配慮		「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定し、プール遊びで残った水は打ち水にして暑さ対策にする、施設の南と東側にミストを取り付ける、夏は高窓を開け風通しを良くし、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関への連絡はメールを利用。 乳幼児クラブや児童の工作材料を、牛乳パックやトレイ、ペットボトル等を利用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		③バリアフリー		入り口や廊下にてできるだけ物を置かないようにし、スペースを確保している。 ウォータークーラーには、小さな幼児も利用できるようステップを設置している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		④備品管理		備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		⑤個人情報保護		特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
	⑥事故等への対応	事故等への対応は減点対象とする (事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり: △1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点					
3 当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満~100%:4点、 100%未満:3点	収入 10,716,200円 ÷ 支出 10,068,215円 ≒ 106%	105% 以上 5点	経営努力により経費削減をおこなった。	5点		

4 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	・窓口意見箱を設置するとともに、乳幼児クラブ終了時にアンケートを実施し、行事開催後も感想・意見を聞く場を設けた。 ・乳幼児クラブにて、28年度に実施したアンケート調査をもとに、親子あそびや運動あそびを多く取り入れ実施した。29年度前期のアンケート結果も後期のクラブ内容や30年度の計画に反映させた。	期待以上 8点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	特になし。	苦情なし・適正(普通)4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない: 8~0点	・28年度に引き続き、29年度もまなびパークの生涯学習コーディネーター事業を6月から3月にかけて10回共催。公民館がない地域で、公民館に変わる施設利用として中央児童館で実施。 ・地元の関係団体に対し、おたよりやホームページを媒体にして施設の周知等を行い、利用促進に努めた。市の一斉清掃にも積極的に参加し、周辺住民の方々と共に地域の清掃活動を実施した。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『子ども・放課後等デイプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(29年度…5/14静岡県・12/3静岡県・2/18東京駒澤大学・2/25静岡県) また10/1「東海協同集会(名古屋市立大学)」・10/7~8「全国協同集会(龍谷大学)」・2/25~26「ワーカーズコープよい仕事集会(東京秋葉原)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計10回開催。 ・下記の研修会に参加し、伝達研修を行った。 5/19健全育成専門セミナー(主催:児童健全育成推進財団)10/24~27児童厚生員等基礎研修会(主催:児童健全育成推進財団) 9/26館長研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会)・10/5東濃ブロック児童厚生員研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会)・11/20東濃地区児童館職員等研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会) 5/26多治見市児童厚生員研修会(主催:多治見市社協) 4/17ぎふ木育指導者研修(主催:岐阜県恵みの森づくり推進課) 9/7地域子育て支援拠点研修(主催:厚労省) 5/29普通救命救急講習(笠原消防署)	期待以上 14点	・公民館がない地域で、公民館に変わる施設として地域拠点となっており評価できる。 ・地域行事への職員の参加や、地域や近隣の神社との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努める姿が見られた。	14点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。		
		合計	100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ・概ね良好な管理がなされている。 ・他団体や地域と連携する等の努力により、来館者数を維持している点は、特に評価できる。	82点 良好